

すこやか便り 9月号

令和2年9月1日 文責：青砥 眞由美

2学期が始まり2週間が経過しました。例年より短い夏休みとなりましたが、特別療育を実施しました。「路線バス乗車体験」「ビジターセンター見学」「アイス作り」では、公共のマナーを守り、普段の療育では出来ないことを体験してきました。

毎日暑い日が続いていますが、秋がゆっくりと近づいて来ています。バランスの良い食生活を心掛け、しっかり睡眠をとり、体調を整えて元気に過ごして欲しいと思います。



《 特別療育の様子をご紹介します 》

■お金の学習（8月11日、12日）

小学生以上の児童、生徒を対象に、お金の計算や友だちとの交流を目的とし、「お金の学習」を行いました。

一人350円を持ち、ボールビンゴ（50円）、くじ引き（40円）ウイナー（60円）アイス（80円）のコーナーを回るとおつりが120円になります。残りの120円でウイナーを2本買う子、アイスとくじ引きをする子など、それぞれ考えながら楽しんでいました。高学年の子が低学年の子に優しく関わる姿があり、いつもの療育の様子とは違う一面も見られました。



特別支援学級についての説明会を実施しました。

8月24日に、発達支援センターに通所している4,5歳児の保護者を対象に、特別支援学級についての説明会を実施し、教育委員会 学校教育指導室長の天野健治氏に話をさせて頂きました。

特別支援学級の設置について、今まで話を聞く機会がなかったため職員も勉強になりました。説明の後、お母さん方から質問があり、今まで疑問に思っていたことを解決できる場になってもらえたようです。

今後も、就学に向けて心配なことがありましたら、いつでも職員に声を掛けて下さい。

～お知らせ～

9月28日～10月2日の療育の中で、避難訓練を実施します。幼児の療育では、保護者の方と一緒に避難をして頂きたいと思いますので、ご協力を宜しくお願い致します。